

レジリエント社会の構築

南海トラフ巨大地震への備え

駿河湾で起こる東海地震を対象に「大規模地震対策特別措置法」が1978年に交付され、翌年には静岡県全域が地震防災対策強化地域に指定され、防災・減災対策、避難訓練、防災意識の高揚がなされてきた。しかし、東北地方太平洋沖地震などにより地震予知のできないことが判明し、2012年に南海トラフ巨大地震の被害想定が抜本的に改訂された。さらに、2025年3月に南海トラフ巨大地震の被害想定が見直された。このように静岡県民は50年近く地震情報の変化を経験し、混乱が生じている。そこで、静岡県にある静岡大学と浜松医科大学の防災・医療の専門家は、本事業で県西部の住民に対して大地震に関する最新情報を提供するとともに、住民との意見交換の場を設けて、防災・医療に関する社会理解の増進に取り組む。

Nankai Trough



Masayuki Takemura

武村 雅之

静岡大学防災総合センター客員教授、名古屋大学減災連携研究センター招聘教員。専門は地震学。

Yasunobu Maeda

前田 恭伸

静岡大学防災総合センター副センター長、静岡大学浜松キャンパス工学領域教授。専門はリスクアナリシス、情報システム。



Atsuto Yoshino

吉野 篤人

浜松医科大学医学部地域医療学講座特任教授、静岡大学防災総合センター客員教授。専門は救急医学、災害医学。



2025

11/24

(月・祝)

13:00~17:00

参加費
無料

PROGRAM

- | | | | |
|-------------|-------------|----------------------|----------------|
| 13:00~13:10 | 挨拶 | 静岡大学 学長
浜松医科大学 学長 | 日誌 一幸
渡邊 裕司 |
| 13:10~13:15 | シンポジウムの趣旨説明 | 静岡大学
防災総合センター長 | 北村 晃寿 |

第1部 防災講演

- | | | | |
|-------------|------------------------------------|--------------------------|-------|
| 13:15~13:50 | 昭和東南海地震とその被害の再検討
一軍需工場における認識の違い | 静岡大学防災総合センター・客員教授 | 武村 雅之 |
| 13:50~14:25 | 老人介護施設の
津波避難DIGシミュレーション | 静岡大学工学部・教授 | 前田 恭伸 |
| 14:25~15:00 | 災害医療の変遷 | 浜松医科大学医学部地域医療学講座
特任教授 | 吉野 篤人 |
| 15:00~15:20 | 総合討論 | | |

第2部 ポスターセッション

- | | |
|-------------|----------|
| 15:40~17:00 | 住民との意見交換 |
|-------------|----------|



会場 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館 (静岡県浜松市中央区城北3丁目5-1)

定員: 150名 参加費: 無料

申込み方法 右記QRコードもしくは
<https://forms.office.com/r/D0gdwDtHh4>
より専用フォームにて受付 締切 11/14(金)
※定員になり次第受付終了とさせていただきます。



お問い合わせ

静岡大学防災総合センター事務室
【電話】054(238)4632
【メール】only-office@mail.cnh.shizuoka.ac.jp

主催: 静岡大学 防災総合センター
(あいうえお順) 浜松医科大学 地域創成防災支援人材教育センター

後援: 静岡県・(一社)静岡県地質調査業協会
(あいうえお順) (一社)静岡シビルサポートキャリア
(公社)日本技術士会 静岡県支部・(一社)浜松市医師会・浜松市
浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワーク はままつ na net



静岡大学
Shizuoka University



浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

※会場にお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。